インジェクションランプ点灯 奮戦記

2016/5/27 なか@船橋

4月半ば、キャンプに行く途中またしてもインジェクションランプが点灯してしまいました。 今回で、3回目です。(笑) 2回目までは、テスターでランプを消す事が出来たのですが、今回は クリアーしても又すぐ点灯してしまいます。今までの接触不良とは違い明らかに不具合です。 走行には、今までとなんら変わらず力もあるしスピードも出るので問題は無いのですが、GWに長野県まで出かけるので、たどり着けるかと 心配です。



直訳すると 噴射システム

(アンバー) FAILURE

Fiat Ducatoの取説によると、下記記述が。



INIECTION SYSTEM FAILURE (amber)

Under normal conditions, turning the ignition key to **MAR**, the warning light turns on but it should go off after engine

If the warning light stays on or turns on when travelling, means a fault in the supply/ignition system which could cause high emissions at the exhaust, possible lack of performance, poor handling and high consumption levels.

On certain versions the dedicated message is displayed.

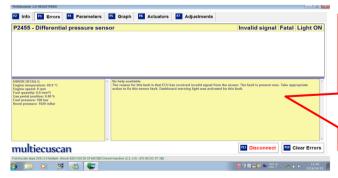
In these conditions it is possible to continue driving without however requiring heavy effort or high speed from the engine. In any case, contact Fiat Dealership as soon as possible.

通常の条件下では、旋回MAR、警告灯へのイグニッションキーオンになるが、 それはエンジンの後に消灯し起動。 警告灯が点灯したまま、またはオンになる場合 旅行するとき、/電源の故障を意味します。高引き起こす可能性の点火システム 排気時の排出の可能性不足パフォーマンス、貧しい取り扱いと高消費レベル。 特定のバージョン専用のメッセージで表示されています。 これらの条件では、継続することが可能ですしかし、必要とすることなく、駆動 重い努力やエンジンからの高速。 いずれのできるだけ速やかにお問い合わせください。 いずれの場合も、フィアットのディーラーに

キャンプから帰着後、SNSで相談すると同じような症状の方もいらっしゃって、色々とアドバイス 頂き助かりました。

- 1、同じ境遇です。

2、接触不良では、コネクターのピンの清掃とか・・ 3、P0235で、ブーストセンサー交換で解決しました。 もう一度、テスターを繋いでエラーコードを確認したら、自分の場合はP2455でした。 P2455エラーは、Differential pressure sensor(差圧センサー)、DPF関連と判明。 インジェクションランプ点灯でも色々とあるようです。



No help available

The reason for this fault is that ECU has received invalid signal from the sensor. The fault is present now.

Take appropriate action to fix this sensor fault.

Dashoboard warning light was activated for this fault.

直訳すると

この障害の原因は、ECUは、センサからの無効信号を受信したことです。 障害が今存在しています。

このセンサ故障を修正するための適切なアクションを実行してください。 Dashoboard警告灯は、この障害のために活性化しました。

更に、SNSで色々とアドバイスを頂きました。TNX!

- 1、差圧センサーが故障すると吹けなくなるからまだ大丈夫だよ・・とか。
- 2、初期のタイプはよく壊れるみたいとか・・。
- 3、センサーが異常検知したら、その元を見つけて修理しないと又、同じことが 起きるから、専門家にきちっと見てもらった方がいいよ。 4、多分、DPFに煤が溜まっているのでは?ブーストセンサーエラーの原因は
- 4、多分、DPFに煤が溜まっているのでは?ブーストセンサーエラーの原因は エアークリーナーをスポーツタイプに交換したのが原因だったとか。 要因を見つけないといけませんね。涙;
- 5、DPFを再生させる方法の一つとして30分位3,000回転で走ると良いとか。 そしたらチェックランプが消えたと言う方もあり、自分も1時間3,000回転で 高速道路を走りましたが、自分の場合は何も変化なし・・。涙; 3,000回転で30分走ったら、チェックランプが消えた方にエラーコードを 聞いたら、診断機に掛けてないのでコードは不明だそうです。何だったんだろう?

そのような状況で、片道300Km高速を走って長野県ヘキャンプに行ってきました。 往復何もなく、楽しくキャンプも出来無事帰着出来ました。ヽ(^。^)ノ

連休明け、頼んでおいた差圧センサーが入荷しましたが、野暮用が多くてなかなか交換作業が 出来ないまま日にちだけが過ぎて行きました。

やっと時間が出来たので、5/24(火)車の下に潜って交換する事に。



DPFの側に付いている差圧センサー 新しく手配した差圧センサー 差圧センサー交換は、8mmのナットを2個外します、次にコネクターを外します。 ホースバンドを外して、付け替えます。 (ホースバンド(8mm-12mm) は新品に交換しました)



ホースを付け間違えないように交換しました

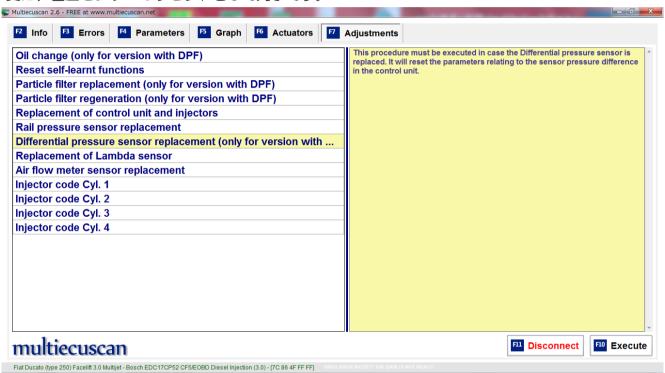
新しい差圧センサーが付きました

テスターに繋いで、エラーをクリアーします。



インジェクションランプが消えました。

更に、差圧センサーのリセットをして完了です。



外した、差圧センサーをチェック



差圧センサーにテッシュを入れて見ましたら、入口側(下側)で少し煤が付く程度で、出口側は 綺麗でした。 作業時間は30分程で、テスターの作業も数分レベル終了です。 ヽ(^。^)ノ

差圧センサーの動作原理を調べると、下記記述が出てきました。

差圧センサーは、ピエゾ抵抗素子を用いて粒子除去フィルター前後の排気圧の差圧を 測定します。測定値はフィルターのローディングステージ計算に使用出来ます。 これは低燃費、強制再生制御の前提条件となります。

と言う事は、抵抗値を試しにテスターで調べて見ると

端子番号(1-2) は4.6K Ω 、(2-3) は54.9K Ω 、(1-3) は55.9K Ω 新品を調べてないので、定かではありませんが①-②番の抵抗値が怪しい。 新品を取付ける前に、調べておけばよかったと後悔しています。涙;

多分、差圧センサーの不良が原因だったのではと勝手に思っています。(笑)

使用テスター(あると便利)

マルチスキャン (Multiecuscan)

URLIJ, http://www.multiecuscan.net/

最新バージョンは、3.0で無償版と有料版があります。

有料版は、50€です。(6千円強ですね) アラジンのオイルランプもこれでクリアー出来ます。

Exhausted oil

The warning light turns on and flashes along with the message on the display when the system detects that the engine oil is exhausted.

After the first indication, at each engine staring the warning light will go on flashing for about 60 seconds and then every 2 hours until oil is changed.

Warning if warning light flashes, contact Fiat Dealership as soon as possible to have oil changed instrument panel warning light turned off.



第三世代のフィアットデュカートは一定距離走行すると エンジン始動時にオイルランプが60秒間点滅し、 その後2時間走行すると又、オイルランプが60秒間 点滅します。

ランプを点滅させることで、オイル交換の時期を知らせ 交換を促す仕組みのようです。

毎回、オイル交換時にテスターでリセットすれば このような事は起きないのですが、フィアットの 正規テスターがないとリセット出来ないようです。 フィアットジャパンのディーラーには正規テスター があるので、点滅が煩わしい方はそちらへ・・ ただしテスター使用料が掛かります。

エンジンオイルは、DPF対応オイルを使用しましょう。

ディーゼル DH-2/CF-4は、DPF(Diesel Particulate Filter) などの粒子状物質 減少装置や触媒等の後処理装置のディーゼル車を対象とする自動車用ディーゼル エンジン油のJASO DH-2規格に適合しています。また低灰分ながらAPIのCF-4級の 性能を有し、DPFの装着・非装着車にかかわらずディーゼル車(乗用車除き)に 適用可能な高性能マルチグレード油です。



DPF対応ディーゼルオイル

オイル交換ついでに サービスインターバルリセットをしました。 制御モジュールに接続して、サービス インターバルリセットを行います。 エンジンオイルを交換した後、必要作業です。



上記画面でリセットします。